令和7年度 授業改善推進プラン 低学年

	令和6年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○よいところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国語 ○書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いて読むことができる。 ○読書をすることに関心が高く、楽しみながらすすんで本を読むことができる。 ○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 △助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。 △ひらがなやカタカナの筆順や形、漢字の習熟がさらに必要である。 △事柄に沿って、文章を書くこと難しい。 △原稿用紙の正しい書き方が定着していない。	○担任による読み聞かせや動画を活用し、たくさんの文章に触れさせたり、学習の中に動作化などを取り入れたりして楽しみながら文脈理解を支援する活動を行う。 ○さらに意欲的に読むことができるように、読書の時間と国語の単元学習を関連させる等の工夫をする。 ○表現力を向上させるために、音読練習やスピーチ、ペアトークの機会を設定し、言語活動の充実を図る。 △文章の中での使われ方に着目させ、教科書に出てきた文を視写する活動を増やし、文章を書く際に助詞や句読点、かぎを意識できるようにする。 △タブレットを活用して、ひらがなやカタカナの筆順や字形を繰り返し確認できるようにする。また、既習漢字を他教科の学習でも積極的に使用したり、単元ごとに学習した漢字のテストを取り入れたりする。 △書こうとする題材に必要な事柄を集めたり、組み立てを考えて書いたりできるようにワークシートを工夫したりする。 △原稿用紙に文章を書く活動を増やし、書き方のきまりを繰り返し指導する。	
算数 ○加法・減法の計算練習に、意欲的に取り組むことができる。 ○計算問題への学習意欲が高まるとともに、計算の正確さが増してきた。 ○文章問題を正しく読み取って、立式することができる。 △水の量や長さなど、単位を必要とする学習や、感覚を伴った単元の定着に課題がある。 △時計が示す時刻を正しく読むことや、時間の長さを表すことに課題がある。	○継続して意欲的に取り組むことができるよう、興味をひく課題の設定を工夫する。 ○ステップ学習の時間に計算練習を計画的に設けたことにより成果が出てきたので、タブレットを使ったドリル学習を活用し、既習内容をより定着させていく。 ○問題文の中からキーワードを見付けさせ、具体物・図・式・文章を連動して思考し立式できるようにする。 △実際の長さや量を感じることができる数学的活動を多く取り入れる。自ら測定したり調べたりすることによって、その単位の大きさが自分の感覚として身に付くようにする。 △生活の中で、時計を見て時刻を読むことや、時間を意識させる機会を増やし、家庭学習も含め、復習問題を繰り返し解くことで理解を深める。	
生活 ○動植物に関心をもって働きかけ、動植物は生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。 △見聞きしたり調べたりしたことを自分らしい方法で表現する力、伝えたいことや伝え方を選んで活動することに課題がある。	○変化や成長の様子に目を向け、動植物に親しみをもって関わるができるように、学年園や一人一鉢で植物を育てたり、生き物と触れ合い世話をしたりする活動を取り入れる。 △絵、文、写真を撮るなどし、後からでも思い出せるようにしたり、その中からお気に入りや一番伝えたいことを見つけたりできるようにする。また、友達と自分を比べる視点を与えたり、まとめ方を工夫したものを提示し、参考にさせたりする。	
音楽 ○リズムや拍の違いを工夫し、手拍子をしたり音をつなげて音楽をつくったりする学習を楽しむことができる。 ○歌う喜びを味わい、歌うことを通して音楽の楽しさに触れている。 △鍵盤ハーモニカの指使いやタンギングが課題である。	○様々なリズムや楽器にふれる機会をより多くもち、音やリズムに親しみをもたせる。 ○曲想の感じを取りを深めたり、必要な技能を身に付けたりしながら感じ取ったことを基にいろいろな表現の仕方を体験できるようにする。 △鍵盤の拡大掲示を使用し、指使いを具体的に教える。全体指導の後に個別に確認する。友達と教え合いをすることで、自分たちでも指使いを意識しながら練習できるようにする。息の入れ方や吹き方、吹く時の口の形などを丁寧に確認しながら	

		指導する。
図工	<p>○つくり出す喜びを味わいながら、造形活動を楽しんでいる。</p> <p>△表現したいことに合わせて材料・用具を使い、表し方を工夫することに課題がある。</p> <p>△絵をかき始めることができない、何をかくとよいか分からないなど、自分で考えて表すことに課題がある。</p>	<p>○児童が興味・関心をもつことができる題材を選定する。</p> <p>△完成品の提示をしたり、友達と作品を見合ったりすることで発想を広げる。そのために用具の使い方を掲示し、視覚的に分かるようにする。また、使い方を丁寧に教え、試す時間を十分に確保したり、繰り返し使用する機会を意図的に授業に取り入れたりし、用具に慣れさせていく。</p> <p>△何もかいていない状態からどのようにかき進めるとよいか手本を示す。また、かきたいものが見つかるように、題材について意見を出し合い、例が複数示されているようにする。</p>
体育	<p>○走・跳の運動遊びや器械・器具を使った運動遊び、ボール遊びに興味をもって取り組むことができる。</p> <p>△支えたり、ぶら下がったり、体をいろいろな動かすことや手足でボールを操作する力に課題がみられる。</p>	<p>○児童が意欲的に活動に取り組めるように、運動する場の設定や用具などを工夫したり、児童同士で運動の場を考えたりできるようにする。また、振り返りカードなどを活用し、自分ができるようになったことを確認できるようにすることで、主体的に取り組めるようにする。</p> <p>△準備運動の他に、体全体を使っているいろいろな動きをする補助運動を取り入れる。また、休み時間の外遊びを推奨する。</p>